

活動報告書 2026年 第3四半期（7～9月）

一般社団法人ジャンティーク

代表理事 岩田健太郎

2026年7～9月の活動：フードパントリー

主な取組み・現在の状況など

- 渋谷区笹塚にてフードパントリーを13回開催し、延べ219世帯（4～6月は173世帯）に食品をお受け取りいただきました。活動開始以来、延べ816世帯がご利用されています。
- 7月より、笹塚で就労継続支援B型事業所を運営する「ワークショップはらっぱ」様から、自主製品のお菓子を購入し、食品セットの一部としてお配りしています。事業所で働く人への間接的な応援にもつながる取組みとして、小規模ながら継続していく予定です。
- ニューヨークとフィラデルフィアのフードパントリー（New York Common Pantry、Lutheran Settlement House）を訪問。どちらも食糧支援と生活支援の両方を一体的かつ大規模に行っていることなどが分かり、今後の団体運営において大変参考になりました。

※代表理事が私用にて9月に米国に行った際、個人として訪問しています。

ワークショップはらっぱ様のお菓子



ニューヨーク・フィラデルフィアのパントリー



フードパントリー会場にて



お配りした食品セット例



- 昨年末からパントリー利用者向けに、家計・生活改善、資産形成の無料相談を開始。パントリー会場・メール・オンラインなどで行っており、開始以来20名の方（利用者のうち約2割）のご相談に対応しております。
- ご相談の範囲は、家計の改善、資産形成アドバイス、保険見直し、社会保障・セーフティーネットの活用など、多岐にわたります。テーマ別の勉強会も毎月開催しています。

- 大学進学に備える ～いくら必要か・どう貯めるか～
- 意外と知らない公的年金のメリット、iDeCoの使い方
- もしもの時の保障を考える（後編）～働けなくなった時～
- 家計改善（後編）～借入れの怖さ・どう返済するか～
- 貯蓄型保険を解約するべきか、解約後どうすればいいか
- NISAでインデックス投資 ～半年間を振り返る～

GenLife

主なご相談事例（保険・年金）

	最初のステップ	実際にやったことの例
割高な生命保険の見直し	契約している生命保険（終身保険、外資建て・変額保険など）を診断	今の保険を解約、新たな保険を新規契約し、返金金を出金で貯蓄運用 ⇒保険料負担を軽減し、資産形成も（解約が不要な商品もあります）
無保険の状態を解消	世帯の世帯主を揃えて、入力がない保険を整理（蓄安は掛け捨てタイプのみ）	ネット生命を契約、安い保険料（月1,800円）で必要な保険を確保 ⇒何かあった時の大きな安心に
企業年金・退職金を有効活用	会社の確定拠出年金（DC）や退職金などの状況を整理	全て確定拠出年金に変更し、投資信託で運用 ⇒自分の企業年金が長期で増える

Gentile

大学費用全体の収支を計画（私立文系・自宅通学）

パターン①：世帯年収500万円（ひとり親・子1人）

奨学金返済 30万円	大学入学まで貯蓄200万円
入学支・学費 410万円 (4年分・自宅通学)	持ち出し学費金 250万円 (1年分・奨学金返済が100万円)
生活費 200万円 (4年分・自宅通学)	子の生活費141万円
支出合計1440万円	親・親族の生活費保障 40万円

↑
入学金は
確定
↓
金額大い

パターン②：世帯年収300万円（ひとり親・子1人）

奨学金返済 30万円	大学入学までの積立200万円
入学支・学費 410万円 (4年分・自宅通学)	授業料・学費金減免 120万円 授業料・学費金減免 110万円
生活費 200万円 (4年分・自宅通学)	子の生活費141万円
支出合計1440万円	親・親族の生活費保障 40万円

※パターン①～④はあくまでも一例

支出		収入	
家賃		給与(手取り)	
食費		〇〇手当	
カードローン返済(25金割10,000円)		スキマバイト	
奨学金返済(25金割2,000円)			
子ども言い事			
通信費			
交通費(通勤定期)			
生命保険			
電気			
ガス			
水道			
サブスク①			
サブスク②			
子ども小遣い			
経理費合計	0	収入合計	0
親小遣い(趣味・外食費など)			
レジャー・旅行			
被服代			
日用品			
美容院・クリーニング			
病院・薬代			
交通費(その他)			
経理費合計	0		
支出合計	0	貯蓄	0

[illegible]

■ 上記のような理由で逼迫している方には、月一回のフードパントリーと都度の家計相談や情報提供だけでは不十分なことが多く、改善につながる具体的な後押しが必要と考えたことが、支援プランを始めた背景です。8月以降で、6件のお申し込みをいただいています。

Gentile

～生活改善支援プラン～

今を変えるための一歩を応援します！

・失業・休職、障害・疾病、離婚などによって生活が難しくなった方が、生活改善の一歩を支援するためにできた3ヶ月間の生活改善支援プランです。
オンライン面談、食費支援、手続きや申請書類の資料提供が利用できます

こういったことで悩んでいませんか

病気や心身の不調等
が原因で休職した
場合
毎月の生活費を
心配しながら生活
が継続していく

休職不食が
続いたことで
徐々に精神にこた
え、精神的な苦
悶状態を伴ってしまう

生活費などの
不足が続いている
生活困窮者の生活
支援活動を利用する

離婚した
場合
毎月生活費を支払
う義務が法律で定め
られている

家計の改善のため
専門家の助けが必要
でもやりとりに
悩んでいる

失業した
場合
収入減で生活が
苦しくなり、生活
改善支援とに
悩んでいる

プランの内容（3ヶ月間）

①オンライン面談

面談内容の記録を面談記録として記録

②食費支援

フードバンクで
食料が手に入るまで
支援を行う

③実費補助

生活費以外で必要となった生活
費の申請で利用できるようにする

詳しくは利用案内や生活改善コールセンター
のホームページからご確認ください。

補助とともになる費用

・生活改善の相談にのり、交通
費、駅までの費用など

・生活費の不足などの支援費用

・生活費の不足などの相談料

・福祉サービス利用料

・その他上記と同等の費用

生活改善プログラム 実費補助支給確認書

利用者氏名	プラン申込日	2026 年 月 日
-------	--------	------------

■実費補助の詳細

利用日	実費の種類	支払先名称	支払金額	支給日	利用者署名
			円 角 分		
			円 角 分		
			円 角 分		
			円 角 分		
			円 角 分		
			円 角 分		
			円 角 分		
			円 角 分		
			円 角 分		
			円 角 分		
実費合計			円 角 分		

実費の種類： 診療費、診断書作成費、相談料、実験費、交通費、郵送費、その他（ ）
 支払通貨：明細は別添

■利用者署名欄

上記一般社団法人ジェンティームの生活改善プログラムによる実費補助が、上記の通り支給されたことを確認し、また、なが支援活動は現金を支払い、銀行振込、キャッシュレス決済のいずれかとし、現金手渡しは首門未読の履歴が印刷中で支給となることがあります。

利用者署名

■記録確認欄

本書は実費補助の支給内容確認及び記録のための記録簿で保管し、写しを利用者に送付します。
 実費の領収書など必要な範囲の写しを記録簿に保管します。

一般社団法人ジェンティーム
 代表理事 前田穂太郎

実費補助：下記のような出費につき、合計2万円まで後払いで精算

- ✓ 公的制度※の申請にかかった交通費・郵送費など
- ✓ 診断書の作成費、新しく治療を始めるための初診費用、カウンセリング費用など
- ✓ 社労士・弁護士などの相談料など
- ✓ 資格試験の受験費用など
- ✓ 就労移行支援といった障害福祉サービスの本人負担分など
- ✓ その他上記と同様の費用及び経費（食費や日用品費などは対象外）

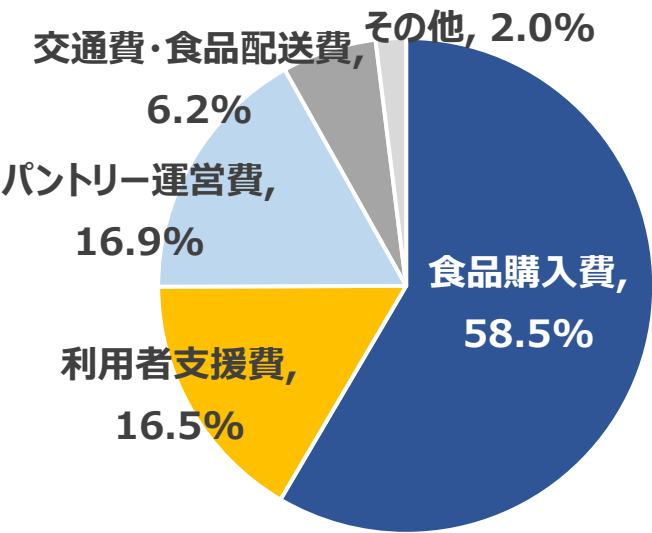
※児童扶養手当、自立支援医療、自立相談支援、障害年金など

2026年7～9月の支出状況

支出について

- 7～9月は641,050円（4～6月502,146円）になりました。利用者の継続的增加により食品購入費が374,776円（同293,526円）に増加しています。
- 今回より生活改善支援プランの実費補助、及びパントリー利用の交通費一部補助を利用者支援費として分類しており、7～9月は108,400円（同27,400円）となりました。
※交通費一部補助は従来までパントリー運営費に分類
- 家計・生活相談や勉強会はパントリー会場やオンラインで行っているため、実施に伴う特段の支出はありません。
- 本年2月の法人化後も、引き続き寄付金や助成金など外部からの資金提供は受けておらず、活動費用は全て自己資金から拠出しております（食品の寄贈は不定期で活用）。また理事及び社員への報酬支払い・社会保険加入はありません。なお

7～9月支出の内訳



利用者支援費：
生活改善支援プランの実費補助、交通費補助費

パントリー運営費：
会場利用費、倉庫利用費、ボランティア経費等（理事及び社員への報酬支払・社会保険加入はありません）

その他：
備品購入費、印刷費、通信費等

金額（円）

分類	7～9月	4～6月
食品購入費	374,776	293,526
利用者支援費	108,400	27,400
パントリー運営費	105,670	104,010
交通費・食品配送費	39,555	36,600
その他	12,649	40,610
合計	641,050	502,146

※活動報告書は任意の開示資料であり、法定の決算公告ではありません

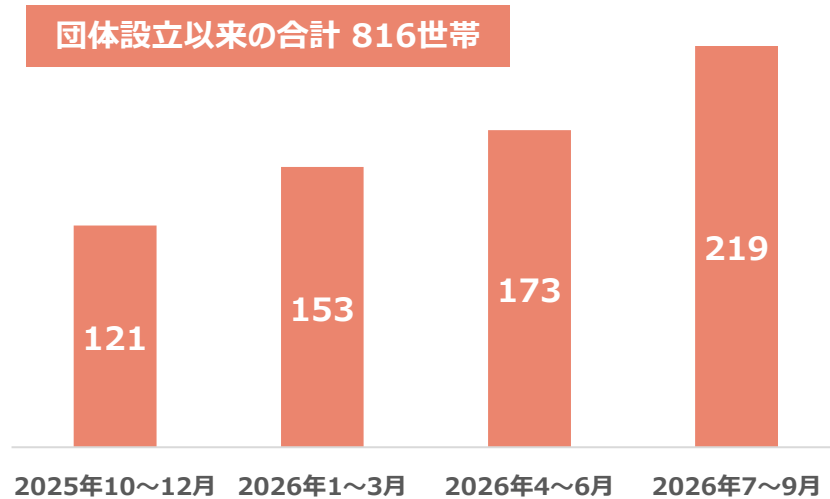
設立から現在までの主な取り組み

- ❑ 2025年1月：非営利任意団体ジャンティーユを設立
- ❑ 2025年3月：第1回のフードパントリーを笹塚で開催
- ❑ 2025年5月：パントリーの利用条件拡充①（利用対象に多子世帯を追加。特に生活にお困りの方の利用拡充）
- ❑ 2025年6月：区の相談窓口、他の支援団体・事業者等の利用者への紹介・情報提供を開始
- ❑ 2025年7月：会場ボランティアスタッフの公募を開始
- ❑ 2025年9月：他団体様支援事業を終了（フードパントリー事業への資金リソース集中が目的。1団体のみ代表個人で寄付継続）
- ❑ 2025年10月：公共交通機関利用者へ交通費一部補助を開始
- ❑ 2025年11月：食品保管庫を移転・拡張（26年4月に再拡張）
- ❑ 2025年12月：他団体からの寄贈食品を配布（以後、食品の寄贈は不定期で活用）

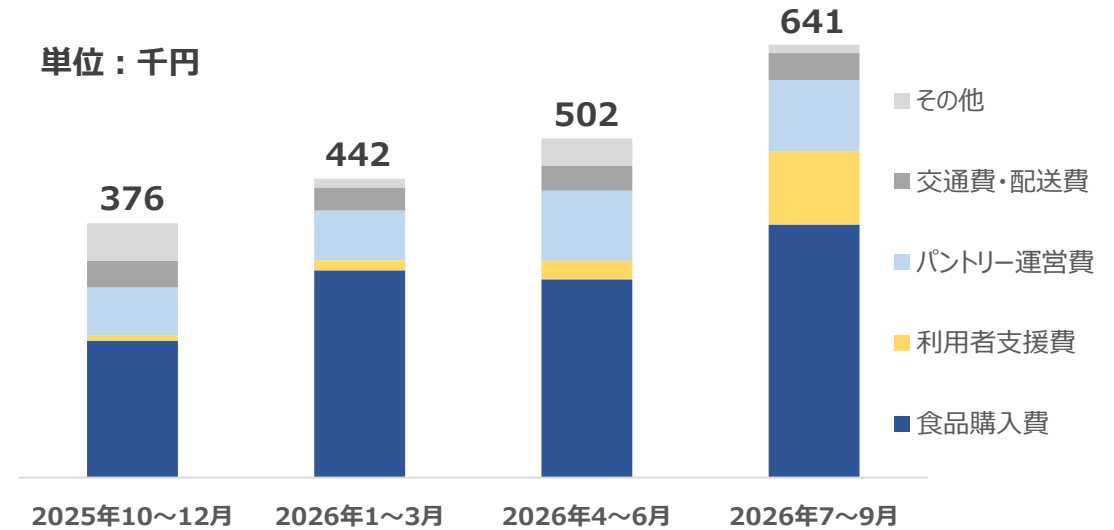
- ❑ 2025年12月：家計改善・生活相談の無料プログラムを開始
- ❑ 2026年1月：パントリーの利用条件拡充②（子が二人以上の世帯の利用拡充）
- ❑ 2026年2月：任意団体から一般社団法人へ法人化
- ❑ 2026年4月：パントリーの利用条件拡充③（経済的困窮による一時的利用を可能に）
- ❑ 2026年6月：パントリーの利用条件拡充④（利用対象に就労制限のある外国人を追加）
- ❑ 2026年7月：障害者支援施設からのお菓子購入を開始
- ❑ 2026年8月：「生活改善支援プラン」を開始

フードパントリーのご利用実績、支出金額のまとめ

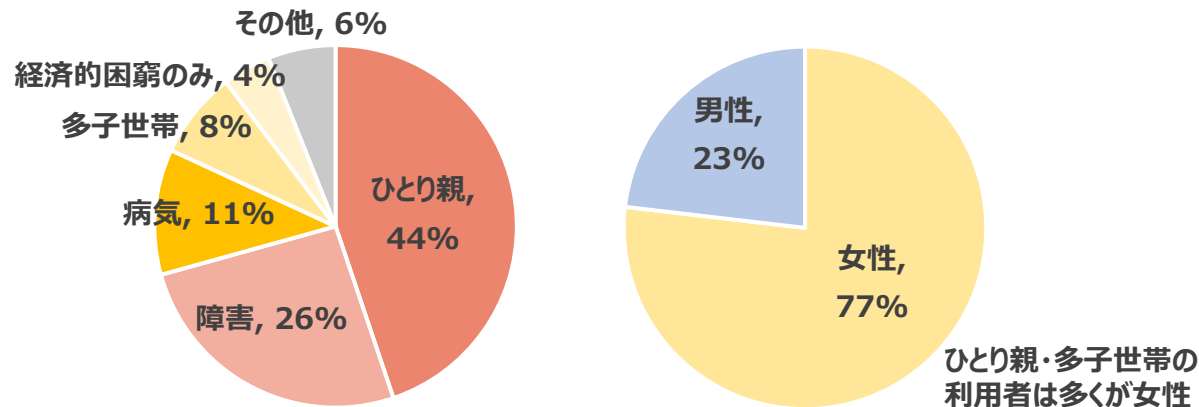
フードパントリー利用数の推移（直近一年間）



支出金額の推移（直近一年間）



利用者の内訳



支出金額 団体設立以来の合計

支出分類	金額（円）
食品購入費	1,500,845
利用者支援費	158,450
パントリー運営費	428,120
交通費・食品配送費	196,525
その他	161,265
合計	2,445,205